

ラオス公的債務 中国による返済猶予など

水野兼悟

ラオス政府の借入金融は、中国による返済猶予、タイでの外債、国内国債が下支えしている。

中国による返済猶予

ラオスの対外公的債務残高は対GDP比で120%を超え、近隣国の約2～3倍の高水準である（図1）。国際通貨基金（IMF）は、ラオスの公的債務を返済困難と分析している^{注1}。

対外公的債務返済の予実を見

ると、2019年から乖離が大きくなる（図2）。特に21年以降は、予算の約半分しか返済していない。19～22年の乖離額（未払額）は約1584百万ドルと推計され、うち中国への未払いが約88%を占める（図3）。

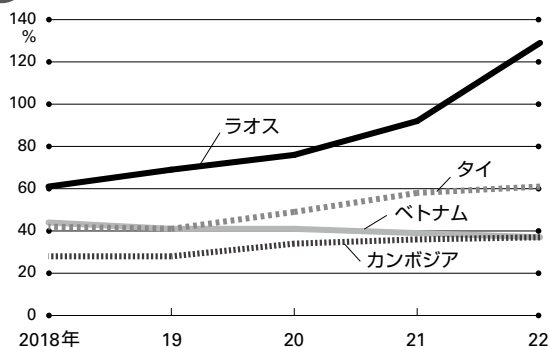
中国による債務の罍の懸念先として、ASEANではラオスがよく挙げられる。しかし、実際には中国による返済猶予のおかげで、ラオスは国際開発金融機関や他債権国へ返済できている。

タイでの外債

ラオス財務省（MOF）は13年からタイでソブリン外債を発行してきた。国内の資本市場が小さなラオスにとって、タイの債券市場は重要な資金調達先である。

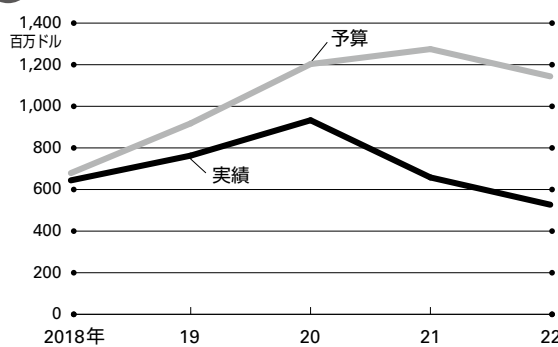
一方、近年の発行推移からは、2つの特徴が見て取れる（図4）。第1に、18年から1回当たりの発行額が減少している。第2に、直近（23年8月）では、予定額の約2割しか販売できなかった^{注2}。

図1 公的債務残高GDP比



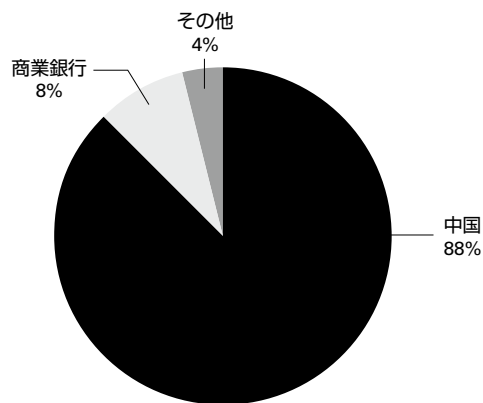
出所) IMF, "Fiscal Monitor," Apr 2023

図2 対外公的債務返済予実



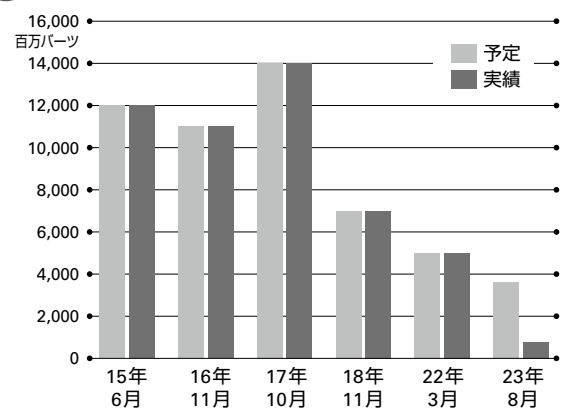
出所) MOF, "Public and Publicly Guaranteed Debt Statistic Bulletin," annual series and "Baht bond prospectus," Nov 2018

図3 対外公的債務返済未払先（19～22年計）



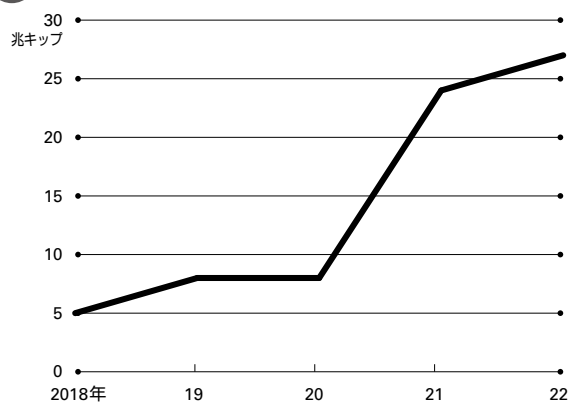
出所) MOF, "Public and Publicly Guaranteed Debt Statistic Bulletin," annual series

図4 タイでのラオスMOF外債発行予実（パーツ建て）



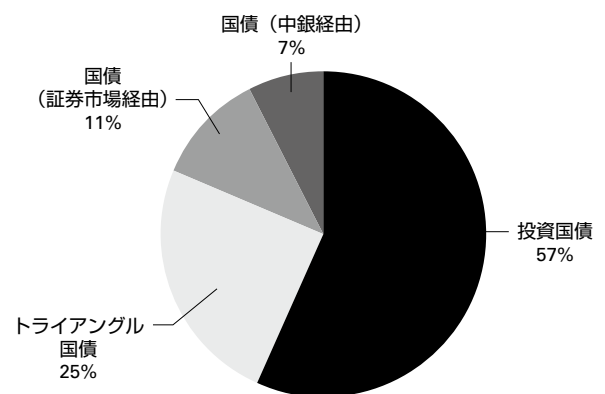
出所) Securities and Exchange Commission, Thailand

図5 国債残高（ラオス国内）



出所) MOF, "Public and Publicly Guaranteed Debt Statistic Bulletin," 2022

図6 国債残高内訳（22年末）



出所) MOF, "Public and Publicly Guaranteed Debt Statistic Bulletin," 2022

今後10年間で17本の既発債が償還期限を迎える。外貨準備が不十分なラオスにとって、タイでの外債返済が債務不履行の引き金となりかねない。

国内国債

MOFは21年から国債への依存を深めている(図5)。うち、投資国債とトライアングル国債^{注3}

が8割強を占める(図6)。いずれも、中銀や証券市場経由の国債よりも低利で、銀行からすると買い取らされている。

政府による未払金は、認識済みで約0.9兆キップ、確認中で約23兆キップある^{注4}。さらに、別の約10.5兆キップの可能性も指摘されている^{注5}。これらを総計すると、MOFの国内債務は、61兆キップ超となる。

注

- 1 IMF 4条協議報告書、23年5月
- 2 タイ債券市場では引受業務は稀有
- 3 政府の未払金を置換する国債
- 4 図5、6の出所統計
- 5 注1に同じ

水野兼悟（みずのけんご）
野村総合研究所タイ顧問